

63回 東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ：「内視鏡検査・治療を安全・安心・安楽に行う前・中・後の看護」

日時：2025年6月28日 14:00~16:00

会場：五反田文化会館

参加者：28名

2025年度2回目のテーマは、「内視鏡検査・治療を安全・安心・安楽に行う前・中・後の看護」でした。日本消化器内視鏡技師会、内視鏡看護委員会の上田道子先生を講師に招き、講演をして頂きました。上田先生は、長きにわたり内視鏡看護委員会で重要な役割を果たし、私たちに内視鏡看護の真髄を教え導いてくださっています。



講義内容を簡単にご紹介いたします。

1. 今、求められる内視鏡看護
2. 検査・治療前の看護
3. 検査・治療中の看護
4. 検査・治療後の看護
5. 内視鏡における看護記録 です。

内視鏡検査・治療の各段階における看護師の役割や患者さんの不安を和らげるためのコミュニケーションの工夫、タッチングの方法、



観察ポイント、問診の重要性、腹部用手圧迫法など、実践に基づいた具体的なアドバイスがたくさん紹介されました。(一つ一つが貴重な内容で、すべてを伝えられないのが残念です)

参加者からのアンケートでは、

- ・分かりやすい説明で勉強になった
- ・内容が良く学びが多く、それでいて看護の原点に立ち返ることができた
- ・内視鏡でのケアリングの重要性は日々感じていたので、とても関心がある内容で学ぶことができました。

・内視鏡看護について幅広く学ぶことができました。改めて看護とはどんなことなのか教えて頂き、自分自身も考えることが出来ました。

などの意見がありました。

私が特に印象に残ったのは、『今求められる内視鏡看護は、検査・治療への関心だけでなく、内視鏡を受ける「人」の心と身体を深く思いやるケアリングが大切』という点でした。また、「看護師が看護師である由縁は看護師援助を必要としている患者の存在があるからだ」のウィーデンバックの言葉から、内視鏡室に看護師の存在の意味と価値を自覚したケアリングの重要性を導きだしています。上田先生の講演は、2時間、ノンストップでした。写真からも先生の熱意が伝わってきます。

次回は、9月27日(土) タイトル「内視鏡システム、洗浄消毒機のハンズオン~実機を用いた勉強会」を富士フィルム社の協力で開催予定です。いつもと会場が違いますので、詳しくは東京消化器内視鏡技師会HPをご覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

暑い日が続いております、ご自愛くださいませ。

文責：高村哲子